

2022 年度 野川自然の会 総会 議事録

2022 年 5 月 9 日(月) 18:05～19:45

市民会館萌え木ホール B 会議室

出席者(敬称略)岩村、上田、内田、神田、田路、平井、藤崎、喜園、北南建/富澤、鈴木、飯島

《議事次第》

1. 開会
2. 議長選出
3. 書記選出
4. 下記各議案についての質疑、審議、採決
 - 第 1 号議案: 2021 年度活動報告承認の件
 - 第 2 号議案: 2021 年度決算及び監査報告承認の件
 - 第 3 号議案: 役員改選の件
 - 第 4 号議案: 2022 年度活動計画案承認の件
 - 第 5 号議案: 2022 年度予算案承認の件
5. 議長解任
6. 閉会

《配布資料》

- 1) 2021 年度水生生物モニタリング結果
- 2) 2021 年度野鳥モニタリング結果
- 3) 2021 年度水モニタリング結果
- 4) 2021 年度第 1 調節池植物モニタリング報告
- 5) 野川自然の会規約
- 6) NPO 活動総合保険について
- 7) 会員名簿

- ・現在はコロナ感染防止の行動制限が解除されていることから、3 年ぶりに対面での総会開催とした。
- ・18 時 05 分総会開始。鈴木代表が感染防止関連で欠席のため議長を喜園、書記を内田が担当する。
- ・規約では定足数の定めがないため、本総会は成立。規約により会議の議決は出席者の多数決によるものとして議事を進めた。
- ・第 1 号議案から第 5 号議案まで賛成多数で承認された。
- ・第 4 号議案の 1.5)「『どじょう池』の管理方法の検討・実施」について
「どじょう池」を管理していた「ビオトープの会」が 3 月末で解散したため、今後のどじょう池の管理のあり方について自然再生協議会で協議し合意形成を図ることになった。その後北南建から本会に管理の依頼があるのを待って、管理方法・内容を具体的に検討することになった。
- ・全議案を承認し総会終了後に東京都から報告あり。
 - (1) 4 月の人事異動で新たに自然再生事業所管の工事第二課長に富澤房雄さんが着任し挨拶。
 - (2) 令和 4 年度の野川自然再生地区における工事概要の説明について
 - ・再生事業地内の各施設も 10 年が経過して老朽化や不具合も生じてきている。
 - ・自然再生協議会にも昨年度提案し、各委員と意見交換を行った。
 - ・工事予算が確保できたので本年秋ごろ(稲刈り・脱穀終了後)から各施設の維持修繕工事に着手予定。

第 1 号議案:2021 年度活動報告承認の件

1. 野川自然の会

1) 活動実績

2021 年

- 4 月 3 日(土) 定例作業日:7 名参加、苗床管理、雨水貯留槽集水溝清掃
18 日(日) 第 13 回運営会:6 名出席、西之台会館集会室
29 日(木) 施設修理状況確認
- 5 月 1 日(土) 定例作業日:14 名参加、残存稲株刈り取り、苗床管理
16 日(日) とんぼたんぼ田植え:大人 29 名、子ども 13 名、北南建 2 名参加、コロナ感染拡大防止のため会員及び会員家族以外の参加はなし
20 日(木) 2021 年度総会:往復はがきの返信による書面表決により開催
- 6 月 5 日(土) 定例作業日:10 名参加、水路清掃、河川部オオカワヂシャ駆除
29 日(火) 草刈り下見立ち会い
- 7 月 3 日(土) 定例作業日:7 名参加、田んぼ周辺の草刈り、田んぼの草取
- 8 月 7 日(土) 定例作業日:6 名参加、田んぼまわりの草刈り
14 日(土) 第 14 回運営会:5 名出席、天神前集会所
- 9 月 5 日(日) 定例作業日:14 名参加、ハサ立て、黒米刈り取り
12 日(日) とんぼたんぼ稲刈り:大人 27 名、子ども 12 名、コロナ対策のため会員のみでの実施
20 日(月) とんぼたんぼ脱穀・唐箕:大人 25 名、子ども 15 名、コロナ対策のため会員のみでの実施
- 10 月 2 日(土) 定例作業日:8 名参加、田均し、切りわらまき、ミネラルまき
15 日(金) 学芸大環境教育センターにて粃摺り・精米:4 名参加、北南建 2 名、コシヒカリ 27.15 kg、黒米 660g
16 日(土) 武蔵野公園生物多様性保全利用計画検討会第 1 回意見交換会:1 名出席
30 日(土) 収穫祭に換えて収穫米の配布
31 日(日) //
- 11 月 6 日(土) 定例作業日:6 名参加、田んぼ周辺の草刈り、野川口の土砂あげ
15 日(月) 第 61 回野川第一・第二調節池地区自然再生協議会(現地開催):代表出席
- 12 月 4 日(土) 定例作業日:5 名参加、雨水貯留槽の集水溝の掃除
22 日(月) 令和 3 年度自然再生協議会全国会議:オンライン開催、代表出席

2022 年

- 1 月 17 日(月) 第 62 回野川第一・第二調節池地区自然再生協議会(書面開催)1 名出席
30 日(日) 全体会開催予定も新型コロナ蔓延防止措置下にて中止
- 2 月 5 日(土) 定例作業日:15 名参加、「野川自然の里」のゴミ拾い
- 3 月 5 日(土) 定例作業日:11 名参加、苗床の準備(2 月田んぼデーと作業入れ替え)
7 日(月) 第 63 回野川第一・第二調節池地区自然再生協議会(書面開催)1 名出席
12 日(土) 武蔵野公園生物多様性保全利用計画検討会第 2 回意見交換会:1 名書面出席

2) 2021 年度野川自然の会活動計画の振り返り

①運営に必要な会議(総会、全体会、運営会)の開催

結果:総会 1 回、全体会 0 回開催(蔓延防止重点措置中にて 1 回中止)、運営会 2 回

②自然再生地区の維持管理(水管理を含む)

結果：定例作業日 11 回実施、野川・田んぼ・水路等の掃除や草刈りなど。随時水量調節等。

- ③「田植え」、「稲刈り」、「脱穀・唐箕」、「収穫祭」を各実行委員会を組織して開催し、市民が自然とふれあう機会を創出

結果：新型コロナ感染防止のため、「田植え」「稲刈り」「脱穀・唐箕」は会員のみにて実施、「収穫祭」は実施せず収穫したお米を会員に配布した。

- ④生き物観察会の共催および他の環境関連活動との交流

結果：新型コロナ感染防止のため、実施せず。

- ⑤活動の広報と会員の募集

結果：活動の最新情報を HP にて広報すると共に、会員を募集。今年度は退会 2 名と 1 団体、入会 10 名。

- ⑥その他、当会の目的のために必要なことの実施

結果：・自然再生協議会への出席 4 回

（現地開催 1 回、書面開催 2 回、全国会議（オンライン開催））への出席

・（公）東京都公園協会の「河川ボランティア団体に対する助成金」を受給し、野川の清掃作業を実施。

・学芸大の設備を借用し、種籾を除く籾の全量を籾摺り・精米した。

・武蔵野公園生物多様性保全利用計画検討会意見交換会への出席 2 回

2. 田んぼ部会

2021 年度の活動記録

- ① 田んぼデー（毎月第 4 日曜日）

2021 年

第 121 回 4 月 25 日 14 名 水苗代管理、田植え資材確認、吐口清掃

第 122 回 5 月 23 日 9 名 補植、吐口土砂上げ

6 月台風接近の為中止

第 123 回 7 月 25 日 10 名 稗の除去等

第 124 回 8 月 22 日 10 名 稲架タテ準備、稲の状況確認、吐口土砂上げ

9 月稲刈り・脱穀の為お休み

第 125 回 10 月 24 日 6 名 配布用米の小分け（コシヒカリ 3 合 58 袋、黒米 20 袋）

第 126 回 11 月 28 日 5 名 小屋周辺の落葉清掃、種籾禾取り、水路ゴミ取り

第 127 回 12 月 26 日 3 名 小屋・ロッカーの清掃・生理、水取り入れ口清掃

2022 年

第 128 回 1 月 23 日 12 名 塩水選実施

第 129 回 2 月 27 日 11 名 浸種の受取、側溝の清掃

第 130 回 3 月 27 日 18 名 播種（種まき）実施（コシヒカリ 8 面、黒米 2 面）

- ② その他の作業内容

水路整備（清掃、土砂あげ、草取り等）、フラップゲート・導水管バルブ・水口の開閉
草刈り、ハサのシート開閉、ネット張り閉じ、唐箕の修理、土嚢づくり、
米ぬか・籾殻・切りわら・ミネラルの散布、浸種、催芽、苗床づくり、育苗管理、
田均し、田んぼの水落とし、

3. モニタリング部会

- 1) 水生生物 新型コロナ感染予防のため、5・8・2月実施せず、11月実施(配布資料1)
- 2) 野鳥 毎月第2土曜日9時～10時実施(配布資料2)
- 3) 水 毎月1回実施(配布資料3)
- 4) 植物 4月4日～5月1日日実施(配布資料4)
 侵略的外来種除去作業 6/5、6/27(延10名参加)
- 5) 昆虫 6/26、11/27実施

(各モニタリングの報告は当会ホームページにも掲載)

第 2 号議案: 2021 年度決算及び監査報告承認の件

2022 年 3 月 31 日

野川自然の会 2021 年度 決算報告書

【収入】

科目	予算額	決算額	摘要
年会費 A	43,000 円	42,000 円	42 名
河川ボランティア助成金 B	20,000 円	20,000 円	
寄付		0 円	
雑収入		0 円	
イベント参加費残金 *		0 円	
繰越金 C	58,192 円	58,192 円	
合計	121,192 円	120,192 円	

*イベント参加費 詳細

収入	金額	支出	金額
田植え参加費	0 円	保険代	0 円
稲刈り参加費	0 円	収穫祭食品(トン汁材料 おにぎりの具)	0 円
脱穀参加費	0 円	収穫祭食品以外 (ラップ、薪他)	0 円
収穫祭参加費	0 円	麻縄(稲束ね、ハサ立て)	0 円
合計	0 円		円
残高	収入-支出 0 円	合計	0 円

☆今年は新型コロナにより、イベントとしての行事はすべて中止。

【支出】

科目	予算額	決算額	摘要
保険代 Z	17,000 円	16,720 円	
通信費 Y	7,000 円	5,500 円	葉書、切手
事務費 X	7,000 円	1,589 円	文具、用紙、名札入れ等
田んぼ部会 W	18,000 円	7,785 円	育苗用品、米袋、麻縄等
モニタリング部会 V	15,000 円	21,458 円	バックテスト、pH 計用品、昆虫網 等
雑費 U	57,192 円	5,446 円	ゴミ袋、シャベル、会議室使用 料、送料等
合計	121,192 円	58,498 円	

収入総額	121,192 円	120,192 円	
支出総額	121,192 円	58,498 円	
差引残高	0 円	61,694 円	次年度へ繰越

上記の通り報告いたします。

2022 年 3 月 31 日

野川自然の会 会計

岩村沢也

上田夕希子

上記決算報告書に対し、証票書類付き合わせ監査の結果、

適正に処理されているものと認めます。

2022 年 3 月 31 日

監査役

藤崎正男

監査役

平井正風

第 3 号議案:2022 年度役員改選の件

立候補者

代表	鈴木寛	(2021 年度は鈴木寛)
副代表	松山勇樹	(" 松山勇樹)
会計	A 上田夕希子 B 岩村沢也	(" 上田夕希子、岩村沢也)
監査役	A 藤崎正男 B 平井正風	(" 藤崎正男、平井正風)

(参考:事務局 喜園・内田・丹羽)

第 4 号議案:2022 年度活動計画案承認の件

1. 野川自然の会:新型コロナの感染予防措置を取った上で以下を実施する。

- 1) 運営に必要な会議(総会、全体会、運営会等)の開催
- 2) 自然再生地区の維持管理(水管理を含む)と清掃活動
定例作業日:毎月第 1 土曜日 9 時 30 分~11 時 30 分(1 月及び、イベント重複時除く)
- 3) 「田植え」、「稲刈り」、「脱穀・唐箕」、「収穫祭」の実行委員会を組織して各イベントを開催し、
市民が自然とふれあう機会を創出
- 4) 「生きもの観察会」の開催方法の検討および他の環境関連活動との交流
- 5) 「どじょう池」の管理方法の検討・実施
- 6) 活動の広報と会員の募集
- 7) その他、当会の目的のために必要なことの実施

2. 田んぼ部会

- 1) 田んぼと水路の維持管理
- 2) 井戸づくりの検討
- 3) 水不足時の対策
- 4) より多くの会員が田んぼ部会へ参加しやすいように方法を検討

3. モニタリング部会

- 1) 部会
・モニタリング部会ミーティングの開催(適宜)
- 2) 水生生物
5 月、8 月、11 月、2 月、調査箇所 6
- 3) 野鳥
毎月第 2 土曜日 午前 9 時~10 時半ごろ
- 4) 水
毎月第二土曜日 午後 1 時 30 分~(約 1 時間 30 分)
・調査項目:ため池・湿地などの水質、観測井戸・深池の水位、水に関する状況の観察、天候
- 5) 植物
・第一調節池植物相調査(4 月)、随時野川自然の里全体の植物を記録
・外来植物の駆除

アレチウリ・オオブタクサ(野川・第一調節池)、オオカワヂシャ(野川)、
 セイタカアワダチソウ(半湿地)、ナガミヒナゲシ、アメリカオニアザミ等適宜

6) 昆虫

- ・5～11月：月1回トンボ類ルートセンサス調査および他の昆虫類記録を継続実施
- ・6月：田んぼでのヤゴおよび抜け殻調査

第5号議案：2022年度予算案承認の件

野川自然の会 2022年度予算(案)

収入

科目	予算	摘要
年会費	50,000 円	1000 円×50 人
河川ボランティア助成金	20,000 円	
繰越金	61,694 円	
合計	131,694 円	

支出

科目	予算	摘要
保険代	17,000 円	年間保険
通信費	7,000 円	葉書、切手、ファックスなど
事務費	7,000 円	文具、コピー代、印刷代
田んぼ部会	18,000 円	育苗用品、稲束ねロープ、米ぬかなど
モニタリング部会	15,000 円	水調査 10,000 円、 その他 5,000 円
雑費	67,694 円	消火器、救急用品、軍手・シャベルなどの維持 管理用品、送料など
合計	131,694 円	

* 田植えなどのイベントでは参加費を集めて、イベント保険はその参加費から出金する。